

令和8年度  
(2026年度)

## 土木部の取り組み

<部長の方針・考え方>

誰もが安全・安心に暮らすことができる「持続的な発展に向けた選ばれるまち」をめざし、道路や公園などの都市基盤整備を着実に進めるとともに、効率的・効果的な維持管理に取り組みます。

【重点的な取り組み】

- ①子育て世帯も楽しく、安全に過ごせるまちづくり
- ②安全で利便性の高い道路ネットワークの強化
- ③安全・安心で快適な通行空間の実現
- ④持続可能な地域公共交通の維持・確保
- ⑤賑わいとみどりあふれるまちの形成
- ⑥市有地等の有効活用による財源確保

<部の構成>

土木政策課  
道路河川整備課  
道路河川管理課  
道路河川補修課  
公園みどり課  
交通対策課  
用地課

<主な担当事務>

- (1)道路及び交通に関すること
- (2)公園及び緑化に関すること
- (3)河川に関すること

### 重点的な取り組み：子育て世帯も楽しく、安全に過ごせるまちづくり

【施策シート：04-04、24-01】

子育て世帯も安全・安心に過ごせる都市環境の形成に向け、公園の整備や通学路・未就学児移動経路の子どもの安全対策に取り組みます。

#### 1. 子どもたちがワクワクするような公園の整備

子育て世帯も楽しく、安全に過ごせる公園づくりを進めるため、子どもたちがワクワクするような遊具や誰もが使いやすいバリアフリートイレ、日よけとなる休憩施設などを設置し、子どもの遊び場を充実させます。令和7年度の車塚公園での大型複合遊具等の整備に引き続き、令和8年度においても、王仁公園に子どもたちが自由に飛んだり跳ねたりして遊べる「ふわふわドーム」を設置するなど、市内の主要な公園において順次、整備に取り組みます。



《R7整備：車塚公園(大型複合遊具等整備)》

#### 2. 安全対策

子どもの交通安全プログラムに基づき、各学校・園からの要望に応じて、各施設関係者や道路管理者、交通管理者（警察署）と連携しながら、即効性のある効果的な手法として、交通安全に関する路面表示や電柱幕の貸与、横断防止柵の設置など、子どもを守る交通安全対策に取り組みます。また、街路樹の適正な維持管理により、安全で快適な歩行空間を維持・形成します。



《横断歩道があることを強調する路面標示》



《路面標示の引き直し》

取り組みの成果を測る指標	令和8年度目標値	令和7年度実績（参考）
親子で楽しめる遊び場等の整備に着手する公園数	3公園	2公園

## 重点的な取り組み：安全で利便性の高い道路ネットワークの強化

### 【施策シート：04-01、04-03】

市内の渋滞緩和や物流の円滑化、災害時における救援活動を支える道路網の強化など、国土強靱化に資する道路ネットワークの強化を進めます。

#### 1. 都市計画道路の整備

本市の道路ネットワークの軸となる都市計画道路のうち牧野長尾線は、昨年度供用開始した長尾大池区間から府道枚方高槻線までの区間の事業用地の取得に取り組みます。

また、御殿山小倉線については、市道渚星ヶ丘線から市道渚中宮線までの区間の整備着手に向けて、関係機関協議や詳細設計、用地取得に取り組みます。

さらに、淀川を渡河する牧野高槻線、並びに府道京都守口線拡幅部の早期完成に向けて、大阪府との協定に基づき、用地取得業務を進めます。



《道路ネットワーク図》

取り組みの成果を測る指標	令和8年度目標値	令和7年度実績（参考）
枚方市内の国道1号の主要渋滞箇所における平均旅行速度（主要渋滞箇所5か所の旅行速度の平均値）	18.1km/h	18.1km/h

## 重点的な取り組み：安全・安心で快適な通行空間の実現

### 【施策シート：01-03、04-01、04-03、04-04、04-05】

本市の道路を安全・安心に利用していただけるよう通行空間の整備や維持管理、並びに警察等関係機関と連携した交通安全啓発に取り組みます。

#### 1. 通行空間の整備

「枚方市バリアフリー基本構想」等に基づき、御殿山駅周辺において、高齢者や障害者など誰もが安全・安心で快適に移動できる歩行空間を確保するとともに、光善寺4号踏切において、踏切道内での視覚障害者の安全な通行の確保するため、エスコートゾーンの整備を進めていきます。

府道枚方高槻線における歩道整備を促進するため、大阪府との協定に基づき、令和7年度整備済箇所を除く残区間（延長約330m）の用地取得に向けて、物件調査等業務を進めます。また、府道交野久御山線についても大阪府との協定に基づき、JR津田駅周辺の歩道未整備区間（延長約350m）の用地取得に向けて、測量等作業に着手するなど、大阪府や交野市と連携して歩道整備の取り組みを進めます。

## 2. 交通事故の防止

安全・安心で快適な通行空間の実現に向けて、めいわく駐車や放置自転車への対策及び交通安全啓発事業の実施により、交通ルールとマナーの定着を図ります。

加えて、令和8年4月より実施されました自転車への青切符の導入の周知については、チラシや市ホームページ及びSNSや公共施設に設置されているデジタルサイネージなどを活用すると共に、警察や関係団体と連携を図りながら効果的な取り組みを進めます。



《青切符を踏まえた対策の強化》  
(自転車の交通ルールの周知啓発)

## 3. 道路の維持管理の推進

道路は市民生活や経済活動を支えるインフラ施設として重要な役割を担っていますが、時間の経過とともに舗装等の劣化が進行することから、安全・安心な道路交通を支えるためには適切な維持管理を行い、計画的に補修していくことが重要です。

このため、交通量が多く、通行に支障が生じると広範囲に影響が及ぶ幹線道路については、損傷が軽微な段階から計画的に補修を行う予防保全型、生活道路については損傷を確認することに対処する事後保全型を基本として維持補修を進め、さらに、道路陥没など緊急性が高い補修箇所については両道路ともに市職員が現場に急行して応急対応を行います。

特に、災害時に緊急車両等の通行経路となる緊急交通路を含む主要道路については、舗装長寿命化計画やリフレッシュ整備事業計画に基づき、予防保全型の舗装補修を行うことで長寿命化を図るとともに維持管理コストを縮減しながら、効率的・効果的な維持管理に取り組みます。

## 4. 職員による迅速な補修等の維持管理への対応

市民の安全・安心を第一に考え、道路及び準用河川などの安全性や機能を確保できるよう、異常や支障箇所の早期発見を目的に、関係機関とも連携しながら、定期的なパトロールを継続して行い、直営による迅速な補修を実施するなど、効率的・効果的な維持管理に取り組みます。



《道路補修作業》

## 5. 自転車活用の推進

近年の社会情勢等の変化に対応するとともに、国および大阪府などの最近の動向とも整合を図りながら自転車施策を推進するため、自転車の活用の推進に関する施策を定めた「枚方市自転車活用推進計画」および、歩行者と自転車の安全対策と快適な通行環境整備の推進を目的として策定した「枚方市主要鉄道駅周辺自転車ネットワーク計画」を統合した計画改定に取り組みます。

また、「枚方市自転車活用推進計画」等に基づき、楠葉中宮線、長尾船橋線及び禁野枚方線において安全で快適な自転車通行空間の整備に取り組み、山之上高田線、岡東山之上東1号線、新香里中央線及び枚方新香里線については次年度以降の整備に向けた検討を進めます。

その他、「枚方市総合交通計画（R7.3改定）」における短距離移動手段の導入を促進するため、シェアサイクルの実証実験の中でサイクルステーションの設置個所の拡大に取り組みます。

取り組みの成果を測る指標	令和8年度目標値	令和7年度実績（参考）
各年度におけるバリアフリー整備延長距離	160m	0m ※

※令和7年度設計実施

## 重点的な取り組み：持続可能な地域公共交通の維持・確保

### 【施策シート：05—01】

人口減少や少子高齢化に加え、コロナ禍を契機としたライフスタイルの変化により公共交通利用者の減少が進む中、市民の誰もが移動しやすい活力のある社会生活を維持・充実させていくため、引き続き、地域公共交通を使いやすく、また使いたくなるように、地域公共交通を利用しやすい環境整備に取り組みます。

#### 1. バス路線廃止への対応

路線バス事業は、人口減少による利用者数の減少や運送業における労働管理の厳格化（2024年問題）などにより、全国的にも運転士不足が顕在化しており、本市でも、運転手不足を理由に一部路線の廃止が予定されています。

バス事業者より示された廃止予定路線については、学識経験者・公共交通事業者・運転者組織・関係行政機関・関係団体・市民代表者で構成する「枚方市都市交通会議（本会・地域分科会）」で、対応を協議していきます。

具体的には、地域分科会において、廃止されるバス路線への代替交通導入の要否や、導入する場合の交通手段などについて、沿線地域の課題や需要の把握を行いながら、具体的な検討を実施し、枚方市都市交通会議（本会）において合意形成を図ります。

#### 2. 地域自主運行型コミュニティ交通の導入・支援（ボランティア輸送）

市民や関係者が、新しい移動手段を導入する方法を理解し、具体的に検討する際に活用してもらえるよう「地域主体による新たな移動手段導入の手引き」を作成しています。この手引きをきっかけに公共交通について、地域の皆さんと一緒に考えていただき、それぞれの地域にふさわしい移動手段の導入を実現させ、定着させていくことによって、地域の足の確保に繋がっていきます。

また、市は、自動車保険加入費用や運転者人件費などを助成できるよう支援していきます。

#### 3. 公共交通の利用促進と維持の支援

公共交通を利用する機会を増やせるよう、交通タウンマップを定期的に更新し、市内への転入者等に配布します。

また、将来の公共交通を支える人材育成に向けて、子どもを対象に、公共交通としてのバスの役割や魅力、並びに緊急時の対応や安全確保策などバス運行を支えるバス事業者の取り組みを学ぶことができる、こども夢基金を活用したバックヤードツアーを開催するなど、公共交通の維持を支援します。

さらに、バス路線の減便や廃線の原因である運転手不足解消に向け、近隣市やハローワーク等と連携した採用活動に取り組むことなどにより、公共交通従事者の確保を支援していきます。



《バスバックヤードツアー》

取り組みの成果を測る指標	令和8年度目標値	令和7年度実績（参考）
公共交通利用促進啓発イベントの参加者数（単年度）	305人	302人

## 重点的な取り組み：賑わいとみどりあふれるまちの形成

### 【施策シート：04—04、24—02】

都市の魅力向上につながる、賑わいとみどり豊かな都市環境の形成に向けて、市民にとって利

用したいと思える公園づくりや、街路樹等の整備・再生、緑化の推進を図ります。

### 1. 公園施設の維持管理と小規模公園の活性化

公園施設を安全に安心して利用していただけるよう、公園施設長寿命化計画に基づき、国の補助金を活用して予防保全型の維持管理を計画的に実施し、維持管理コストの縮減と施設の長寿命化を図ります。また、公園施設のストックマネー



《長寿命化計画に基づく遊具更新》



《遊具の定期点検》

ジメントの観点より、設置年度が古く管理リスク

が高い可動式遊具を中心に、劣化や損傷など、その健全度を調査し、施設の安全性の確保と事故防止に努めます。さらに、職員によるパトロールや地域からの要望により随時維持補修を行う事後保全型の維持管理を併せて実施することにより、効率的・効果的な維持管理に取り組みます。

少子高齢化の進展などにより、利用者の減少や施設の老朽化などの課題が顕在化している小規模公園については、近隣住民のニーズに寄り添った公園となるように地域との協働の下、公園の活性化に取り組みます。



《自治会による公園での農事体験》

### 2. 緑化の推進と菊（市の花）への愛着意識の醸成

「2026 緑化フェスティバル」を開催し、市民へのみどりに触れ合う場の提供とまちなかの緑を育てる取り組みを進めます。

引き続き、市内事業所等で育てた花苗などを身近な公園に植栽する「花いっぱい健康づくりプロジェクト」や緑化講習会を実施し、更なる緑化の推進に取り組みます。

また、「枚方市菊花展」や「菊フェスティバル」、並びに職員による菊づくりや市民講座などを通じ、市の花である菊への更なる愛着意識の醸成を図ります。

### 3. 公民連携による賑わい創出

道路法の規制を緩和する歩行者利便増進道路制度、いわゆる「ほこみち制度」を活用し、同制度により指定した利便増進誘導区域（芝生広場を含む駅前広場の一部）において、樟葉駅前広場活性化協議会（枚方市歩行者利便増進道路占用予定者選定委員会により選定した占用者）と連携して、持続可能な賑わいの創出と芝生広場などの良好な維持管理に取り組みます。

また、樟葉駅前広場において発生している鳩の糞害等に対応するため、占用者（樟葉駅前広場活性化協議会）と連携して、鳩給餌対策を実施することで、安全安心で賑わいのある空間を創出するとともに、駅前広場（芝生広場含む）の良好な維持管理の実現に取り組みます。

### 4. 街路樹の維持管理・整備の推進

枚方市の街路樹は、植栽後 40 年以上が経過している木々が増加しており、大木化・老朽化が進行しています。一方で、高齢化の進行等による誰もが安心して利用できる歩道等のバリアフリー化の必要性の高まりや台風等自然災害の激甚化・頻発化による倒木等の発生、街路樹に対する市民意識の多様化など、街路樹を取り巻く環境も大きく変化しており、このような変化に伴う様々な課題に対応できるよう、枚方市街路樹維持管理方針に基づき、街路樹の適切な維持管理を推進し、安全で快適な道路空間を維持・形成します。

また、道路整備等においては、街路樹の整備を検討するなど、市道の緑化推進に取り組みます。

取り組みの成果を測る指標	令和8年度目標値	令和7年度実績（参考）
緑化フェスティバルの来場者数	3,250人	3,100人

## 重点的な取り組み：市有地等の有効活用による財源確保

### 【施策シート：04-04、31-01】

持続的な施策展開を実現していくために、市有地等の有効活用による財源確保に取り組みます。

#### 1. ネーミングライツ

企業等の広報や社会貢献活動などに資するネーミングライツを、本市の施設について企業等に付与することを通じて財源を確保し、施設の安定的な維持管理や魅力の向上を図ります。

- 〔令和8年度〕・道路施設 11箇所：収入額 約820万円/年間
- ・公園施設 3箇所：収入額 約390万円/年間

#### 2. 樟葉駅前広場におけるデジタルサイネージ広告収入(実証実験)

令和6年2月に本市と樟葉駅前広場に隣接する商業施設を運営する(株)京阪流通システムズが協定書を締結し、社会実験を実施しており、広場にデジタルサイネージを設置して、市政情報や民間広告を掲出することを通じて、市政情報の効率的な発信方策や広告収入を活用した広場を良好に維持管理するための財源確保の手法について検証することを目的に取り組んでいます。

〔令和8年度〕収入額 約100万円/年間



《デジタルサイネージ》

#### 3. 枚方市役所北部別館用地の有効活用

市有地を有効活用して財源を確保するため、本市の北部別館用地の一部を民間駐車場として、事業者に貸し付けます。

〔令和8年度〕収入額 約1600万円/年間

#### 4. 飲料品の自動販売機設置

都市公園利用者の利便性向上や熱中症対策を目的とし、飲料品の自動販売機の設置・運営を許可しています。

〔令和8年度〕収入額 約540万円/年間（設置公園16公園）

#### 5. 王仁公園におけるP-F制度の活用

民間のノウハウやアイデアを活かして公園の新たな魅力を創出し、利用者の利便性を高めるP-F制度を活用して公園用地を有料で使用させ、多目的に利用できるフットサルコート等の設置・運営を許可しています。

〔令和8年度〕収入額 約240万円/年間

取り組みの成果を測る指標	令和8年度目標値	令和7年度実績（参考）
維持管理費用の確保（樟葉駅前広場におけるネーミングライツ料、デジタルサイネージ広告収入の一部等による維持管理費用の確保）	7,415千円	7,415千円